

～「学研木津北地区」というのは鹿背山の里山のこと

里山活動を楽しみながら、里山再生に取り組んでいます～

【鹿背山】

城山台や州見台といった大規模住宅地開発の近郊にあって、今もお素晴らしい里山の風景を残していることは、とても貴重で、鹿背山(学研木津北地区)の大きな魅力です。

宅地開発により雑木林や水田の面積は少なくなり、鹿背山の里山はますます貴重な緑の砦となっています。

また、近年姿を消しつつある身近な動植物が今も生息し、絶滅の恐れがある種も含めた多様な動植物の生息地でもあります。



【資源の活用】

鹿背山の里山には、有り余る資源があります。

森に光を差し込ませるために伐採したクヌギやナラは、キノコを栽培する人には貴重なホダ木であり、薪ストーブ愛用者には有用な薪になります。

そして、タケノコ好きには、孟宗竹・破竹・真竹の藪が待っています。

作業効率をいとわなければ、住宅地から歩いて行ける距離に資源が眠っているのです。

また、整備した散策道を歩けば季節の花が楽しめます。

ドキドキワクワク感は、自らの世界を広げる機動力となります。

体験を重ねて得た経験知は、生きる力となっていきます。

自然遊びや歳時記を大切にしたい季節のイベントの中で、同じ時間・場を共有しながら、自然のめぐみ・不思議・そして怖さも実感できます。



【里山の散策】

森に行くと「なんだか気持ちいい」「マイナスイオンがいっぱい！」なんて感じた経験があると思います。

以前から「森林浴」という言葉がありますが、最近では科学的に効果が実証されるようになってきました。

鹿背山の散策コースは、まだまだ整備が不十分な箇所もありますが、整備を進めるルートには、案内サインの設置も完了していますので、虫刺されの心配がなくなる秋になったら、一度散策してみてください。



【里山へGO！（里山活動に参加してみよう）】

鹿背山での里山活動を体験してみたい方や参加してみようと思われる方は、気軽にご連絡ください。

木津北地区保全推進室（都市計画課内） ☎ 75-1222 ✉ kizukita@city.kizugawa.lg.jp